

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	3月	12日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
取材対象先	香芝市：正楽寺の石造線刻阿弥陀如来坐像				

所在地	香芝市平野1053		
所有者（取材 対応者）名	正楽寺（香芝市文化財課 * * * 氏）（個人情報守秘）	連絡先：0745-77-1700	
		PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など：香芝市文化財課		
市町村 指定文化財	彫 刻 1 軀	石造線刻阿弥陀如来坐像 1994(平成6)年3月29日指定	
	建造物 棟		
文化財指定理由	市内でも同時代の石仏は類例がなく、香芝市では最古の石仏である。		

文化財の状況

防火対策	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
	対策なし。	阿弥陀石仏の納まっている覆屋はコンクリート製であり、文化財は石造であるため、心配はないと思われる、
獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	確認できず。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	この文化財は石造で香芝市の最古の石仏であるということから、香芝市指定文化財第1号になった。製作年代の古いものから3つの石仏が市の文化財として指定されていることもあり、保存・継承には十分配慮しているため、今後の課題や対策は特に必要とは感じられない。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

この文化財の隣地には国史跡の平野塚穴山古墳がある。史跡公園の説明板があるところから古墳を見上げれば、東側に正楽寺が見える。古墳を訪れる人はここに香芝市最古の石仏があるという情報も得ているだろうと思われるため、ついで参りでも良いので、少しでも多くの人の目に触れて欲しいと思う。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	3月	12日	(記入者) 神野一美	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
取材対象先	香芝市：正楽寺の石造線刻阿弥陀如来坐像				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 石造線刻阿弥陀如来坐像	
文化財（正面写真）	文化財の全体像
	
阿弥陀石仏は右側の覆屋	正楽寺
	
説明板	文化財の由緒
	隣にある平野塚穴山古墳の石棺の棺台石を転用したという説や、この寺に祀られるまでは橋板として利用されていたという説もあり、全体を眺めるとどのようにも見えてくる。石は凝灰岩、高さ230cm(像高125.5cm)で、浅い線刻のためわかりづらいが、座った膝の上で定印を結んでいる。平安時代後期の特色をよく伝えており、この地域にとって大切な歴史文化資源として残されてきた。